

ブドウ (Campbell Early) の台木に関する研究
(第2報) ブドウ樹の生育と果実の収量・品質について

浜地 文雄・角 利昭・森田 彰・恒遠 正彦
(福岡県立園芸試験場)

HAMACHI, F., SUMI, T., MORITA, A. and TUNETOU, M.
Studies on the Stock of Campbell Early Grape
(2) The effect of the stock on growth, yield and quality

花崗岩土壌におけるブドウ Campbell Early の適応台木を選択するため、1958年から5品種の台木を用いて各種調査を行っている。

第1報でその中間報告をしたので、本報はその後の生育、収量、品質について報告する。

材料および方法

供試品種 (穂木) Campbell Early

(台木) 略称, H, Franc, No. 3309, No. 8B, No. 5BB, 420A.

土壌条件 花崗岩土壌

整枝法 双方二分整枝, 短梢せん定, 波状棚,

管理 一般の管理に準ずる。

試験結果

1. 生育量は8年目まではFrancが最も旺盛で、これに次いで8B, 5BB, 420A, 3309の順であった。その後気象条件により多少の差はあったが、累年(12年間)では8Bが最もすぐれ、Franc, 420A, 3309, 5BBとなり各台木間の差が少なくなる傾向

にあった。

2. 台負けは5年目から8B, 3309, 5BBに現われ420A, Francは台勝ちとなった。11年目から台木より穂木の肥大が多くなる傾向にあった。

3. 結果枝の登熟は420A, 5BBがすぐれ、次いで3309, 8Bの順で、Francが最も劣った。

4. 収量は5BB, 420Aが安定して多く、次いで3309, 8B, Francの順となり、累年収量もほぼ同じ傾向であった。

5. 秀果率は気象条件による差異が多く、累年では5BB, 420Aがいずれもすぐれ、Francが最も劣っていた。

6. 果皮色、果実の品質は5BB, 420Aがよくこれに次いで8B, Francとなり、3309が最も劣った。

7. 熟期は5BBが最も早く次いで420Aとなった。

以上の結果より第1報同様5BB, 420Aが台木として優れている。

